

あまみ 市議会だより

No.71
2023.12



▲ 8月10日 ひかり議会



▲ 8月12日 奄美まつり舟こぎ競争大会



▲ 9月27日 議員研修会



▲ 10月16日 奄美市笠利町招魂祭式典

奄美・沖縄世界自然遺産



第3回定例会

令和5年9月4日～10月5日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会
〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町 25 番 8 号

TEL : (0997) 52-1111

FAX : (0997) 52-2815

Eメール : gikai@city.amami.lg.jp

第3回定例会一般質問・・・・・・・・・・・・・P2～5

第3回定例会常任委員会・・・・・・・・・・・・・P6

第3回定例会の主な議案・・・・・・・・・・・・・P7～8

決算等審査特別委員会の審査概要・・・・・・・・・・・・・P9

活動報告／お知らせ・・・・・・・・・・・・・P10～P11

あとがき・・・・・・・・・・・・・P12

第3回定例会 一般質問

市政を問う

9月5日、6日、7日の3日間で10名の議員が市政全般にわたり施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

※一般質問の録画配信を行っています。下記の二次元バーコードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会ホームページからご覧いただけます。

1日目

- 1 奥 輝人
- 2 崎田 信正
- 3 竹山 耕平
- 4 奥 晃郎

2日目

- 1 幸多 拓磨
- 2 永田 清裕
- 3 与 勝広
- 4 橋口 耕太郎

3日目

- 1 伊東 隆吉
- 2 関 誠之

録画配信は
こちら→
(YouTube)

奄美市 議会録画配信



外海離島における フライト農業の推進について



奥 輝人
無所属
(産業建設委員)

問 航空会社からの回答について

答 令和4年度中に、ある航空会社から従来就航路線の貨物室を利用した農産物の空輸について前向きに検討している旨のご報告を頂き、大きな期待を寄せている。今後に向けて航空輸送の必要性に関する議論・検討は非常に重要と認識しており、関係市町村等々と連携を図りながら農産物の安定した輸送支援に繋げられるように要望活動を行っていく。

問 農産物側の課題について

答 マンゴーを含む果樹全般の航空輸送については、共販体制の充実拡大や、輸送コスト支援事業の利用条件となる3戸以上の組合設立がされていないなど、障壁となる案件も多く存在するため、今後

の研究課題とさせていただきたい。



問 さとうきびの機械化一貫体系の確立・普及について

答 さとうきび栽培で行う植付・防除・除草・収穫を機械で行う一貫体系の確立が不可欠である。現在1組織1団体が機械化一貫体系で行っている。今後の普及について、規模拡大農家を中心に補助事業や制度資金等を活用した機械導入を推進していく。

問 2050年脱炭素社会に向けた再生可能エネルギーの普及拡大について

答 本市においては、地球温暖化対策法に基づき実行計画事務事業編の改訂と区域施策編の策定作業に今年度から取り組んでおり、公民連携で協議を始めたところである。

物価高騰時の下水料金 値上げは回避すべき



崎田 信正
日本共産党
(文教厚生委員)

問 財政調整基金の目的と積立額の目標は

答 財政調整基金は、経済の著しい変動等による大幅な税収減や災害の発生等による予期せぬ支出の増加等に備え、長期的視野から計画的かつ安定的な財政運営のために積み立てるもの。概ね一般会計予算規模の1割程度を目安に確保。

問 財政調整基金がコロナ禍でも増加した要因は

答 平成18年合併当時は2億3千万円程度、令和4年度末は40億円程度と17年の中で38億円積み立てることができた。コロナ対策は、必要とされる多くの対策事業に取り組んできた。一方国から地方創生臨時交付金や地方交付税の追加交付などがあり、財政出動と基金積み立て両方の財源が確保できた。

問 物価高騰が収まらないこの時期に行政が市民生活の困難さに追い討ちをかけるような公共料金(下水道料金)の値上げは回避すべきと思うが

答 下水道事業の持続可能な経営を目指す上で早急な料金改定が必要である。料金改定をこれ以上延長することは、将来世代へより大きな負担を強いることになる。

問 下佐大熊住宅の住替えについて

答 市営住宅の住替えは疾病や身体の障害、加齢等により階段の昇降が困難な入居者が高層階から低層階又はエレベーター付きの住宅へ転居する場合に認められる。住替えの需要に因應するためには現在の入居制度について今後検討を加えることも必要。申請者の希望に添えるよう工夫をこらしたい。

【その他の質問事項】

◎介護保険制度について
◎国民健康保険制度について

おがみ山トンネル工事の 住民説明会について



竹山 耕平
自民党新国会
(総務企画委員)

問 国道58号線おがみ山バイパス(トンネル)事業の現在の進捗状況について

答 用地について約94%の取得率。現在真名津町側のトンネル取付部分の工事に着手している。トンネル本体の発注を今年度中に計画。入札に必要な手続を進めている。

問 6月28日に真名津側で開催した住民説明会について

答 トンネル取付部分の工事に伴い一部通行止めとなることから実施した。日常的に当該市道を利用する周辺住民が対象。バイパス事業概要・工事概要・通行止め区間及び迂回路について説明。今後永田町側・真名津町側でトンネル本体工事着手前に改めて住民説明会を開催予定。意見要望等に関する限り要望に

沿えるよう検討したい。

問 中心市街地活性化対策として計画中の「①子育て保健福祉複合施設」「②バスターミナル計画」について

答 ①保健センター・子育て支援機能を中心に「健康づくり及び子育て支援を一体的に果たす施設」として再検討を行う。本年度中の施設案決定を目指す。②市が事業主体となり管理運営する場合のみ土地処分の検討を行うことができると国から示されたことから、バスセンター整備は困難である。

問 マングローブパークの今後と世界自然遺産センター間の連絡道路整備について

答 サービスエリア機能の充実、住用全体の観光振興につながる拠点機能の充実を基礎とする整備に向けて、「重点道の駅『奄美大島住用』整備推進協議会」で議論する。また、両施設が連動し最大限の相乗効果を発揮できるように財源含め検討を行う。

教育行政について



奥 晃郎
自民党新国会
(文教厚生委員)

問 奨学金の現状と課題と今後の取組について

答 奄美市の奨学金「ふるさと創生人材育成基金」は、経済的理由で修学困難な学生への取組として、約3億2343万円の基金で運用している。貸付する基準については、保護者が市内に引き続き3年以上居住し、生活の本拠を有する者、またはその子弟のうち、学力、芸術文化またはスポーツに優れているにもかかわらず、経済的理由により修学することが困難と認められる学生を対象としている。審査については、条例に基づき設置している「奄美市奨学生審査会」において、学業等、人物、健康及び家計について、詳細に審査し選考している。貸付状況は昨年度の新規貸付者が17名で、現在51名の学生に貸付を行って

いる。また今年度の8月現在の債権は、167名分の約3308万円、このうち、滞納者は39名、滞納額は約1260万円となっている。課題としては、基金の健全な運用のための滞納額の解消がある。滞納への取組としては返還状況通知や督促状、催告書などの継続的な送付や、連帯保証人への働きかけなど庁内関係課とも連携して取り組んでいる。ただ滞納のある方からは病気や失業による生活困窮での相談を受けるケースもあり、そういった場合には、個々の事情に応じて、月々の返還額の減額や、返済の猶予など、個別の対応もしている。「確実に返還することにより次の奨学生に貸付が出来る」ように基金の健全な運用に努める。



豪雨災害対策。海上物流。 カイガラムシ被害について



幸多 拓磨
チャレンジ奄美
(文教厚生委員)

問 具体的な避難場所の表示について

答 学校など敷地内などの場所が避難所になっているのかわからないとの指摘だが、今後は、施設の具体的な場所を詳細に表示し、わかりやすい避難者の誘導ができるようにしていく。

問 食料自給率の現状について

答 令和2年度における鹿児島県の食料自給率は77%であり、全国で7位に位置付けられている。奄美群島及び奄美市の食料自給率に関しては数値化されていないとのこと。今後地場産の農林水産物を島内で安定供給していく対策については、解決に向けて、奄美大島他4町村とも連携し、検討することのできる場の創設が必要であると考えている。

問 航空機による物資の輸送について

答 大型旅客機の離発着に対応する滑走路の拡張について、大型旅客機運航の可能性を航空会社に向ったところ、滑走路の距離に加え、その他諸条件をクリアする必要がある「その可能性について一概に回答できない」とのこと。いずれにしても、航空便を活用した輸送手段の確保については重要な課題であると認識しており、県や航空会社との連携も含め、引き続き課題や方策について研究して参りたい。

問 カイガラムシへの今後の取り組みについて

答 法律で使用可能な農薬については一定の成果があると考えられるため、これまでの防除対策継続とともに、より効果的な農薬の検証も併せて継続する。島外へのソテツの移動規制に向けた対応については、植物防疫法に基づき、現在、鹿児島県と九州農政局が協議中。

市長・副市長の政治姿勢について



永田 清裕
自民党新政会
(産業建設委員)

問 市長後半2年間の抱負

答 「労働力不足」については地元経済界と連携しながら現状の改善に取り組む。「ジェンダー」については女性活躍やジェンダー平等の地域づくりが社会的課題であると考え

る。「インバウンド受入れ対応力の強化」「国内・国際交流の推進」についてはアフターコロナを迎え外国人観光客に対する受入れ体制を整える必要を感じている。あわせて観光や物産の高付加価値化を官民連携して図り「かせぐ」地域づくりに積極的に取り組む。

問 副市長が県職員経験を奄美市政に活かしていることは

答 本市各課における法務関連の事務などに助言を行っている。様々な課題において県と地元市町村の考え方や捉え方が異なる

場合がある。双方の考え方を承知する者として県に対して市の考え方を理解していただくよう、その橋渡し役の役割も重要と考える。

問 副市長の残り任期の抱負

答 市長をサポートし、より良い市政運営のために全力を傾注していく。人口減少対策、官民連携の推進や組織マネジメント力の強化など取り組む課題も山積している。職員とともに解決に向けた取り組みを進めたい。

問 奄美市最上位計画について

答 新たな最上位計画は、シンプルでわかりやすく、市民の皆様とも共有しやすい計画としていく。横断的な検討作業を続け、様々な課題解決に向けて官民一体となった取り組みの基盤となる最上位計画の策定に努める。

【その他の質問事項】

◎防災・減災対策について

市長の政治姿勢について



与 勝広
公明党
(文教厚生委員)

問 血液備蓄所設置について市長の見解は

答 現場の医師などから血液備蓄所撤退により様々な課題が生じていると伺っており、市民の生命を守るためには備蓄所の再構築が必要であると捉えている。今後も離島行政懇談会など様々な機会を通じて要望し、一刻も早く実現できるよう、引き続き島内5市町村とも連携しながら取り組んでまいりたい。

問 職員登用は何を重視しているのか

答 人事登用において重視している点や基準については、毎年度、所属長及び各部長のヒアリングを行い、各職員の業務の状況、あるいは業務の進捗状況などを確認している。その他、全職員を対象とした職員申告書により、異動希望等の意向調査を

行っており、また女性の活躍の場の推進を図ること等も考慮し、それらを基に総合的に判断して毎年度、適材適所な人事登用に努めている。

問 農業研修センター（共同作業場）について

答 整備から約30年が経過し、設備の老朽化等に伴い修繕費用の増加や衛生面の問題などが生じている。これらを考慮し、住用地区へ整備した加工施設へ利用者を集約することで、より良い管理運営が図れるものと考えている。

問 永田墓地の使用者募集の現況について

答 令和3年度は9区画の募集に対し6区画、令和4年度は12区画の募集に対し7区画、令和5年度は13区画の募集に対し5区画の合計18区画の貸出しを行っている。現在、残り8区画の2次募集を行っているという状況である。

奄美市公式ライン（LINE）について



橋口 耕太郎
公明党
(文教厚生委員)

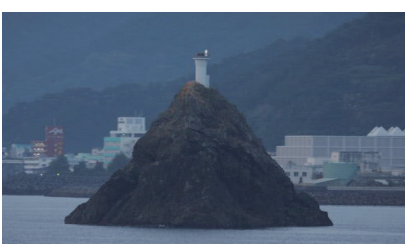
問 現在の登録者数と発信内容と市民からの反応や意見は

答 奄美市公式ラインは、スマートフォン用のアプリであるラインを活用し、市政情報を直接市民に届けるサービス。発信の主な内容は、防災に関する情報、子育て関連のよう

し、登録数の増加につなげたい。

問 名瀬港の「立神」の観光資源化について

答 名瀬港の立神は昭和12年に灯台が設置され、長年名瀬港の航海の安全を見守り続けてきた。現在は灯台としての機能は無いが灯台が設置されている立神は全国的にも珍しく、その存在自体が大変価値があると認識している。提案の観光資源としての活用は、魅力ある観光資源の一つと認識しているが、使用するにあたって安全面などの課題があり今後調査・研究していきたい。



▲ 名瀬港の「立神」

奄美Ⅱ沖縄の交流について



伊東 隆吉
自民党新国会
(産業建設委員)

問 奄美沖縄世界自然遺産登録後の相互の経済交流の推移と現状について

答 沖縄県から奄美群島への入込客数は、コロナ前の令和元年は最も多い7万6395人であったが、登録の年となった令和3年は3万7486人と約半分となった。令和5年は令和元年と比較して8割近くまで回復している。

問 今後の交流拡大に向けた奄美沖縄航空路線へのジェット機材導入について

答 鹿児島県奄美地域離島航空路線協議会において奄美・那覇間の直行便再開の要望を行っている。ジェット機材の導入については交流促進に努めるとともに、航空会社の動向なども注視していく。

問 (一社) あまみ大島観光物産連盟、奄美大島観光協会、(一社) 奄美群島

観光物産協会、商工会議所、観光部会と観光受入相談窓口が多岐にわたり分かつらいため効率的な組織の検討が必要では

答 今度入込客の増加が見込まれるため、民間団体が主体性をもって観光振興を牽引していく効率的な協議が進められることを期待し、行政へ相談等ある場合は対応していく。

問 国道58号住用町城地区現道拡幅について

答 今年3月29日付で要望書を提出し、県から「用地の問題等地元調整が整った時点で整備について検討する」旨の回答を頂いており、本市としても早期実現に向け業務を進めて参りたい。

問 学校教育での方言指導は

答 総合的な学習の時間でシマ唄や八月踊り唄の歌詞の意味や発音を学ぶ機会を設け、またシマグチカルタ大会等を行い楽しく方言を学べる工夫をしている。

『奄美市政の発展』について



関 誠之
立憲民主党
(文教厚生委員)

問 ①住民参加のまちづくり ②生涯学習まちづくり 都市宣言 ③効率的な行政運営の推進 ④新しい時代を創造する職員の能力開発 ⑤学校・地域での郷土教育推進による伝統と文化の継承 ⑥国際交流の推進 (特にアジア圏との交流) ⑦産業の活性化と地場産業の振興 ⑧地域特性に合った農業の振興の8項目について、市の取り組み状況と成果について

答 ①広域的な住民主体の活動組織を研究、「共助」における共生・協働のまちづくりを推進する。②生涯学習講座は本年度3地区で90講座、約2千人が受講、「奄美市まなびフェスタ」で講座の成果を発表している。③行政改革推進課を中心に、「入るを量りて出るを制す」を基本に取り組んだ。④今年度は「職員提案制度」



▲ 奄美市役所(名瀬総合支所)新庁舎

を実施し、職員の能力向上につなげる。⑤伝統文化保存事業として、市内28の自治会や集落等が本事業を利用して、映像資料を作成した。⑥アジア圏との交流は、最も近接する海外経済圏域として大きな可能性があると認識している。⑦創業支援や中小企業支援、魅力ある観光立島の推進、島の在庫反物を活用した2次製品化の推進等を中心に産業間の連携に取り組む。⑧スマート農業を展開することで「かせげる農業」と島内外からの人材確保で、活性化につなげる。

【その他の質問事項】

◎マリントウン土地公募

<令和5年11月20日から新しい奄美市議会がスタートしました>

議会では、市民生活に関係のある重要な問題が審議されています。議会を傍聴して、市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を間近でご覧になれます。

傍聴

事前連絡は不要です。
奄美市役所名瀬庁舎8階にお越しください。

議会中継

議会の様子をインターネットで生中継しています。
奄美市議会のホームページ(市ホームページ内)からご覧いただけます。

録画配信

YouTubeで議会の様子を録画配信しています。
(本紙2ページに二次元バーコードを掲載しています。)

第3回定例会 常任委員会

審査概要

9月12日 文教厚生委員会
9月13日 産業建設委員会
9月14日 総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。
委員会の審査について一部ご紹介します。

文教厚生委員会

令和5年度奄美市一般会計補正予算
(第6号)

問 学童保育施設の遮熱対策について

答 現場要望があり、調査にて室内が高温であったため窓に遮熱フィルムを貼り付けるもの。

【委員からの意見】

○要望施設のみでなく全施設を調査し対応することが必要。

問 奄美音楽祭事業負担金（148万9千円増額）について

答 文化庁の文化芸術創造拠点形成事業補助金が不採択となったため、県及び奄美大島5市町村が追加負担するための予算措置。

問 学校校具教具購入費（74万6千円増額）について

答 一般的に備品購入は学校規模等に応じ予算措置しているが、急遽必要となる大型備品はその都度補正予算対応としている。今回はサッカーゴールを購入するもの。

令和5年度奄美市と畜場特別会計

補正予算（第1号）

問 食肉処理施設稼働時の体制、運営について
答 食肉組合などへ委託する形での運営となる。独立採算を目指し、現在年間約1千頭の食肉加工を2千頭まで増やすことを目標とし、島外処理分についても当該施設で処理できればと考えている。

産業建設委員会

令和5年度奄美市一般会計補正予算
(第6号)

問 経営開始資金の用途と支給開始時期は

答 50歳未満の認定新規就農者に対し、運転資金や機械導入などのため、年間150万円を最長3年間交付する国の制度。今年度新たに対象となる4名に対して交付を予定。

令和5年度下水道事業会計

補正予算（第1号）

【当局の説明】下水道料金の値上げ改定時期を本年4月から10月へ半年延期したことにより、年度内の収入が減額する見込みのため、収入減の補正予算計上。

請願第3号 住民の命と財産、暮らしを守るため、急傾斜地崩壊対策工事の早急な実施について
のお願い ▼採択すべきもの

【当局の説明】請願に記載の古田町の裏山は、平成16年までに地籍調査が入り、地権者同士の境界が定まらない箇所は筆界未定地として調査が完了。対策工事を行うには土地所有者の施工同意と土地の無償提供が必要だが、筆界未定地が存在するため同意書の提出がされないことから、県の対策工事の導入は困難。今後、境界が確定している箇所において市単独事業導入の検討を行っていく。

【委員の意見】請願事項である「積極的な取組を講じるよう尽力を」ということについては何ら問題なく、担当課も対策できる箇所については対応していきたいということなので、我々議会も前向きに進めていきたい。

総務企画委員会

令和5年度奄美市一般会計補正予算
(第6号)

問 井根町・城地区の防災行政無線の修繕に関する経緯、復旧に長期間かかった要因、その他の不具合の状況について

答 城地区は4月に故障が確認され、6月に代替機により仮復旧。井根町は5月末に故障を確認。保守業者に対応を依頼し、仮復旧している。復旧に長期間かかった要因は、部品が届かなかつたことによるもの。

今後は、まず代替機を取り寄せ、仮復旧を行い、その後、本復旧を進めたい。

この2件以外に、直近で見里地区のアンテナ破損が見つかり、現在対応中。

問 奄美音楽祭の財源として、ふるさと応援基金繰入金が増額された経緯について

答 当初予算で奄美音楽祭の財源として見込んでいた約590万円の文化庁の補助金の不採択となったことから、同額を県と奄美大島の5市町村で負担することとなった。（半額を県が、残りを5市町村が人口割にて負担）
本市負担金額は、当初予算で150万8千円、今回の補正で148万9千円、合計で299万7千円となった。



第3回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
	出資法人の経営状況を説明する書類		
	専決処分の報告について (専決第11号 和解及び損害賠償の額を定めることについて)		
	専決処分の報告について (専決第12号 和解及び損害賠償の額を定めることについて)		
議案 第43号	令和5年度奄美市一般会計補正予算(第6号)について	原案 可決	全委員会
議案 第44号	令和5年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) について	原案 可決	文教厚生
議案 第45号	令和5年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正 予算(第2号)について	原案 可決	文教厚生
議案 第46号	令和5年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) について	原案 可決	文教厚生
議案 第47号	令和5年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)に ついて	原案 可決	文教厚生
議案 第48号	令和5年度奄美市と畜場特別会計補正予算(第1号)について	原案 可決	文教厚生
議案 第49号	令和5年度奄美市水道事業会計補正予算(第1号)について	原案 可決	産業建設
議案 第50号	令和5年度奄美市下水道事業会計補正予算(第1号)について	原案 可決	産業建設
議案 第51号	奄美市空き家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例 の制定について	原案 可決	総務企画
議案 第52号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称の 変更及び同組合理約の変更について	原案 可決	総務企画
議案 第53号	令和4年度奄美市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	一般会計
議案 第54号	令和4年度奄美市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定 について	認定	特別会計
議案 第55号	令和4年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入 歳出決算認定について	認定	特別会計
議案 第56号	令和4年度奄美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定に ついて	認定	特別会計
議案 第57号	令和4年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定につ いて	認定	特別会計
議案 第58号	令和4年度奄美市訪問看護特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案 第 59 号	令和 4 年度と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案 第 60 号	令和 4 年度奄美市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案 第 61 号	令和 4 年度奄美市水道事業会計の利益処分及び決算認定について	原案可決 及び認定	特別会計
議案 第 62 号	令和 4 年度奄美市下水道事業会計の利益処分及び決算認定について	原案可決 及び認定	特別会計
議案 第 63 号	令和 5 年度奄美市一般会計補正予算（第 7 号）について	原案 可決	本会議
議案 第 64 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議
議案 第 65 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議

請願・陳情の状況

受理 番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
請願 第 3 号	住民の命と財産，暮らしを守るため，急傾斜地崩壊対策工事の早急な実施についてのお願い	古田町自治会長 大平 隆 二班代表 谷村 昌平 三班代表 松崎 愛三	採択	産業建設
陳情 第 2 号	奄美群島を戦場にしないため，国に「平和と外交」を求める陳情	戦争のための自衛隊配備に 反対する奄美ネット 代表 城村 典文	継続 審査	総務企画

※陳情第2号については、継続審査のまま議員の任期満了を迎えたため、審議未了となりました。

賛否が分かれた案件

議案番号・件名	議員名（議席番号順）															【○賛成数】	【●反対数】			
	幸多拓磨	弓削洋平	永田清裕	林山克巳	正野卓矢	橋口耕太郎	栄ヤス工	大迫勝史	奥晃郎	竹山耕平	関誠之	崎田信正	与勝広	西公郎	奥輝人			伊東隆吉	川口幸義	多田義一
議案第 57 号 令和 4 年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	-	○	○	○	○	15	1
議案第 61 号 令和 4 年度奄美市水道事業会計の決算認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	-	○	○	○	○	15	1

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。（○は賛成・●は反対）

※西公郎議員は議長職の為、表決権はありません。

令和4年度 決算等審査特別委員会

委員会で行なわれた審査の一部をご紹介します。

一般会計決算等審査（日程：9月21日・22日・25日・26日）

総務費

- 問** ふるさと納税のポータルサイトの数、利用が多いサイトについて
- 答** 奄美市が契約している8サイトのうち、最も利用者が多いのが楽天、次いでふるさとチョイス、ふるなび、さとふる、となっている。
- 問** 市税の出張徴収の状況について
- 答** 令和4年度の出張徴収は関東、関西、九州管内で実施し、対象件数 109 件、対象滞納額 472 万 7,455 円に対し、70 件、162 万 8,190 円の納付を受けた。

民生費

- 問** 近年、介護給付等事業費の支出が増加していると思われるが、就労継続支援のA型、B型の事業者の状況は
- 答** A型の事業所は、今年1箇所が廃止となり、現在2か所。B型の事業所は、今年2か所増えたが、統合や廃止もあり、実数は変わらない状況。
- 問** 児童扶養手当の支給対象の増減について
- 答** 支給対象児童は、令和3年度が 710 世帯、1,157 人、令和4年度が 725 世帯、1,179 人と若干増えている。

商工費

- 問** 奄美ふるさと100人応援団の活動内容、任命の仕方などについて
- 答** 地場産品の販売促進など、奄美ファン拡大を目的に、全国で活躍する出身者やゆかりのある方々に応援団となっただき、魅力の情報発信をお願いしている。認定については、選定委員会による選定後、本人の承諾を受けて認定という流れを取っている。

農林水産費

- 問** 農業振興地域整備計画の更新の内容
- 答** 県知事が定める農業の振興を図るべき地域のうち、積極的に活用する区域とそれ以外の区域に区分をするもの。市内全地区において、従来の約 2,100 ヘクタールの農業振興地域からの除外や編入について調査、計画変更を行い、昨年度末に県知事に進達した。

教育費

- 問** 校務員の配置状況について
- 答** 令和4年度までは各学校に1人を配置。令和5年度は9人減し、全体で 19 人を配置。現在アンケート等により実態を調査し、今後の配置について検討中。

特別会計決算等審査（日程：9月21日・22日）

国民健康保険事業特別会計

- 委員** 職場対抗ダイエットレースの成果は
- 当局** 働く世代の健康意識向上を目的に実施し、13 事業所が参加。参加者の約6割が血圧の改善、体脂肪の減少など、健康づくりにつながった。
- 委員** ジェネリック医薬品の普及状況と、普及のための取組状況は
- 当局** 国の目標値 80%に対し、奄美市は 88.9%。市としては、各薬局に対してジェネリック医薬品の内容等を示したものを送付し、案内している。
- 委員** 特定健診の受診率 35%に関して、受診をしない人のその理由は
- 当局** アンケート結果によると、通院中のためが 26%で最も多く、次いで時間がとれない、関心が向かない等となっている。
- 委員** 病院側とも連携して、受診率向上に取り組んでいただきたい。

介護保険事業特別会計

- 委員** 保険料の収入未済額が現年度分で 500 万円程度発生している要因は
- 当局** 高所得の滞納者が若干多く、その対応が若干遅くなったため。
- 委員** 少しずつでも回収できるよう努めていただきたい。

水道事業会計

- 委員** 有価証券の取得がなされたようだが、この中身は
- 当局** 資金の効率的な運用を図るため、額面2億円の国債（20年もの）を購入した。
- 委員** 利率による利益を考えながら、計画的に運用していただきたい。

【その他の審査を行った会計】

- ◎国民健康保険直営診療施設勘定特別会計
◎下水道事業会計 など

奄美市中学生ひかり議会



令和 5 年 8 月 10 日、ひかり議会が行われ市内の中学生 12 名が参加しました。自然や文化に関する問題や通学路の安全性に関する問題など、奄美市の様々な課題について質問しました。

奄美まつり舟こぎ競争大会

令和 5 年 8 月 12 日に開催された奄美まつり舟こぎ競争大会に、奄美市議会から出場しました。



お悔やみのお知らせ

和田霜析議員（自民党新政会）が令和 5 年 8 月 14 日にご逝去されました。和田議員におかれましては、令和 3 年 11 月に執行された奄美市議会議員補欠選挙で市議会議員に初当選され、市政発展のためにご尽力いただきました。また、令和 4 年 11 月からは「あまみ市議会だより」編集委員長として、読みやすく、議会を身近に感じられる紙面作りに努めていただきました。謹んでお悔み申し上げ、心からご冥福をお祈りいたします。

奄美市議会議員研修会

奄美市議会では毎年議員研修会を行っており、議員の資質向上に努めています。

令和5年度は第1回研修会を9月27日に市役所第一委員会室にて開催しました。第1部の講師には 双日株式会社 自動車本部 齊藤 祥午氏 をお招きし、「地域交通に関する新たな展開」というテーマで講話をいただき、第2部は 双日グループ 防衛担当顧問 上ノ谷 寛 氏 に「南西諸島防衛の現状と課題」というテーマで講話をいただきました。



◀ 齊藤講師

上ノ谷講師 ▶



任期満了

令和元年 11 月 20 日からスタートした奄美市議会が、令和 5 年 11 月 19 日をもって任期を満了しました。



議会の動き

【8月】

- 2日 議会だより編集委員会
- 3日 議会運営委員会
- 10日 ひかり議会
- 11日 奄美まつり（花火大会）
- 12日 奄美まつり（舟こぎ競争大会）
- 14日 第2回臨時会
- 15日 戦没者合同慰霊祭
- 22日 一般質問通告
- 23日 議会運営委員会

【9月】

- 4日 第3回定例会開会、全員協議会
- 5日 一般質問（～7日）
- 11日 本会議、全員協議会
- 12日 文教厚生委員会
- 13日 産業建設委員会
- 14日 総務企画委員会
- 18日 敬老の日祝賀会
- 20日 本会議、全員協議会、
議会運営委員会
- 21日 決算等審査特別委員会
（～26日）
- 27日 議員研修会
- 28日 奄美大島商工会議所ビル落成記念式並びに祝賀会

【10月】

- 4日 東大医科学研究所奄美病害動物
研究施設第3棟改築記念レセプション
- 5日 最終本会議、全員協議会
- 7日 燃ゆる感動かごしま国体総合開
会式
- 8日 笠利町招魂祭相撲大会
- 10日 名瀬浄化センターバイオガス発
電事業発電開始式
- 13日 燃ゆる感動かごしま国体相撲
競技（～15日）
- 16日 笠利町招魂祭式典
- 17日 燃ゆる感動かごしま国体総合開
会式
- 18日 鹿児島県市議会議長会政務調査
（～20日）
- 24日 九州市議会議長会理事会
- 29日 市議会議員選挙投票日

市議会だより

編集委員会

【委員長】 林山 克巳
【委員】 幸多 拓磨
関 誠之
崎田 信正
与 勝広
永田 清裕

第4回定例会の予定

令和5年 12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
				開会	一般質問	
10	11	12	13	14	15	16
		一般質問			本会議	
17	18	19	20	21	22	23
	常任委員会					
24	25	26	27	28	29	30
			最終本会議			
31						

年賀状などのあいさつ状の禁止について

「公職選挙法第147条の2」により、政治家はその選挙区内にある者に対して、年賀状・寒中見舞状等のあいさつ状を出すことが禁止されています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



編集あとがき

はじめに、本誌の編集委員長であった和田霜析議員に、改めて心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

さて、この夏は4年ぶりに「奄美まつり」が復活し、また全国の高校生が集う「かごしま総合文化祭」や全国離島の中学生が集う「離島甲子園」が、ここ奄美大島で開催されました。さらに、10月には、島で初めて「かごしま国体」も開催されたところでした。世界自然遺産の島で、奄美群島日本復帰70周年という記念すべき年の開催は、コロナ禍からの回復を大いに景気づけたことでしょう。

私たち奄美市議会は11月19日を以って4年の任期満了を迎えました。コロナ禍で、議員活動も十分に行えない中ではありましたが、議員一人ひとりが市民の皆様とふれあい、出来ることを精一杯成し遂げてきたことと思えます。

そして、11月20日からは、新たな奄美市議会がスタートしております。勇退なされた方、再びそして新たに挑戦された方、それぞれの立場となりますが、奄美市政にかける情熱は、皆同じであります。

今後とも、「初心忘るべからず」を肝に銘じ、議会一丸となって、奄美市の発展に励んでまいります。

【永田 清裕】